

基本方針（案）

まちづくり委員会担当

副理事長 齊藤 靖之

私達が住み暮らすこの大仙郷には、様々な文化や自然資源など沢山の魅力があります。多くの方々には、地域のたからを魅力と捉えておらず、発信することが出来ずにいる現状があります。まちづくりは人づくりと言われるように地域を担う人材が重要であることから、魅力を活かしたまちづくりが求められています。私達は3市町を活動エリアとする強みを活かし、世代を超えて郷土愛をもって住み続けたいと思えるまちを創る必要があります。

まずは、大仙郷の歴史ある伝統文化、豊かな自然資源という魅力を知った上で、たからを見つけ出し、このまちに住み暮らす人としての郷土愛を醸成するために、自然や地域文化の歴史を学び、大仙郷の魅力を改めて認識する機会を創出します。そして、大仙郷の魅力をより広く対外に伝播し、まちに活力をもたらすために、数ある地域の魅力をより広く深く知り、守るべきものを長所として捉え、語り伝えることが出来る人材を育成します。さらに、まちの未来を担う方や関係諸団体と連携し、絆を強固なものにしていくために、地域の魅力を共有することで、より発信力を高め大仙郷の魅力を語り合える事業を展開していきます。また、各地の伝統文化や豊かな自然などの魅力を活かすために、このまちの未来を担う方や、関係諸団体との協力体制をより強固なものとし、様々なネットワークを通じて魅力を発信していきます。そして、大仙郷の魅力のひとつである花火に親しみを持って頂くとともに歴史的伝統文化であることを再認識頂くために、全日本残月花火選手権大会を開催し、また違った花火の見方を提案することで次世代へと継承し広く伝播します。

私達が積極的に地域の歴史を学び魅力を昇華させ、地域住民の愛郷心を育み地域の特色を捉えたまちづくりを可能とするべく起こした運動が、地域の人々に伝わり皆がこのまちの将来のために一体となった行動を起こし、魅力ある明るい豊かな大仙郷を築き上げます。